

## 1 中期学校経営方針

### (1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
1	あかるく、仲よく、たのしい、あ・な・たの学校、わかり合い、たすけ合い、信じあえる、わ・た・しの学校づくりを目指します。
2	個に応じた学習指導を行い、基礎基本の定着による確かな学力を伸ばすことにより、生きる力を育てます。
3	「主体的・対話的で深い学び」の考えを導入し、子どもたちの意欲関心を高め主体的に学習に取り組む姿勢を育成します。

### (2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野		取組目標	具体的取組
豊かな心		・道徳や教科学習、特別活動（行事）の中で、自尊感情や自己有用感を高める。	・行事を通して生徒一人ひとりが成長を感じられる指導や評価を大切にする。 ・行事等の活動を通して、人とかかわりをもつことで自分の存在を肯定的にとらえ、楽しさを感じ、自らの働きかけで人の役に立った、人に喜んでもらえたなど相手の存在によって得られる「自己有用感」がもてる指導に努める。
担当	道徳人権 国際部会		

## 2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

部活動や行事に熱心に取り組む生徒が多く、挨拶もできる。また、人とコミュニケーションをとることが好きな生徒が多い。生徒が主体的に教科学習、教科学習、行事、部活動に取り組み、協力し合う中で互いを認め合い、充実感・達成感が得られるように、「小さな取組や活動に対して声をかけ、自己有用感をもてる生徒を育成する。人の気持ちをくみとることが苦手な生徒が増えてきているので、自分と同じように相手を大切にする指導を大切にしたい。

## 3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

### 指針1 「道徳の時間」の充実

- 全校道徳の実施回数の維持と内容の充実を図る。『視点1・2』
- ・道徳教科書をベースにしながら実態に合わせた教材を活用し、他者と意見を交換する場を設け、多角的な見方を身に付ける。『視点1・2』
  - ・研修会を実施し、道徳の時間の指導力向上を図る。『視点1・2』

### 指針2 体験学習の充実

- ・1年 自然教室、2年 東京遠足、3年 沖縄修学旅行で自然とふれ合い、仲間と協力する。『視点3・5』
- ・1年 福祉体験、2年 職場体験学習を実施『視点4』

### 指針3 確かな人権感覚・意識の育成

- ボイスオブユース、人権作文、国際平和スピーチコンテストへの取組『視点6・8・9』
- ・ユニセフへの理解を深め、生徒会による募金活動の実施『視点9』